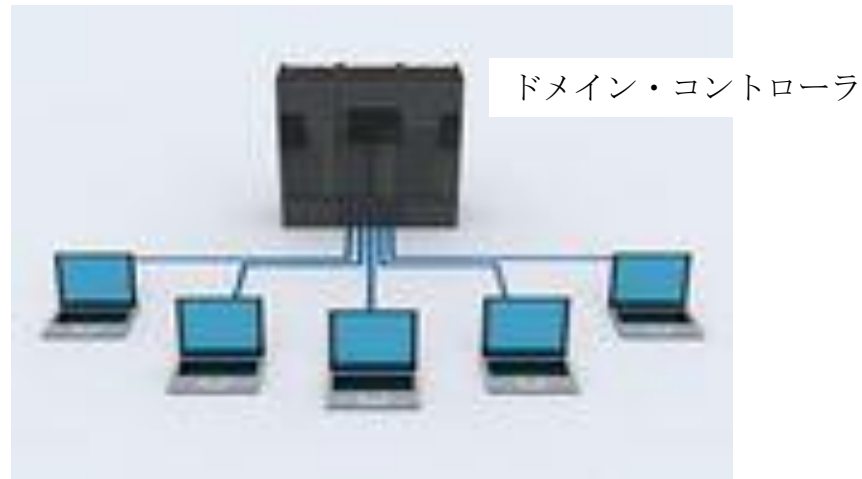


ActiveDirectory 構築／設定



ドメイン・コントローラの ServerOS レベルアップ

サポートが終了する Windows2003 ドメイン・コントローラの対応のために、新たな Windows2012 サーバを準備して、ドメイン・コントローラを構築します。

また、構築後は、旧 Windows2003 サーバのドメイン情報をクリーンアップします。

F SMO サーバの入換え

Windows ドメイン・コントローラの F SMO（操作マスタ）を障害が発生したサーバから、別のサーバに移行します。

ドメイン機能レベルのアップ

ドメインで利用できる機能を上げるために、ドメイン機能レベルをアップさせます。

これにより、新たなドメイン管理機能が使えるようになります。

フォレスト機能レベルのアップ

ActiveDirectory フォレストで利用できる機能を上げるために、フォレスト機能レベルをアップします。

これにより、フォレスト間での信頼関係などの新機能が使えるようになります。

コントローラ間のレプリケーション整合性チェック

それぞれのドメイン・コントローラに登録する内容は、すべてのドメイン・コントローラ間で転送が行われ、同期が取られます。

しかし、何らかの原因で転送が失敗すると、Active Directory 情報が、サーバ間で異なった不整合な状態になってしまいます。

この状態を放置しておくと、約60日後にすべてのサーバが停止してしまいます。

このようなことが無いように、定期的に整合性のチェックを行います。

ActiveDirectory 障害対応

障害の初期段階では、イベントログに表示される警告程度ですが、放置すれば全システムが停止してしまう致命傷となるものがあります。

このようなことが無いように不整合状態や、Active Directory データの障害などが発生していないかを調査します。

不具合や障害が発生していた場合には、その対応を行います。

定期的な確認と早い段階での対応をお勧めいたします。

グループポリシー（GPO）作成と条件適用

例えば、USBメモリの使用禁止やパスワード変更の定期的実行、端末の電源管理などは、端末に規則（ポリシー）を設定することで実施されます。

設定の漏れや誤りが発生しても、端末ごとの設定では気づかないことがあります。また規則変更や組織の変更に対する対応などは、多大な作業量になることもあります。

この規則を、ドメインで統一して管理し、効率よく適用することが、グループポリシー（GPO）です。

なお、このグループポリシーは端末のOS別や部署別、役職別に使い分けることができます。

作業の効率化と規則の統一適用のために、グループポリシーを作成して対象に適用します。